

リニア中央新幹線の開業により中部圏と地方との時間距離が大幅に短縮されることを踏まえ、中部圏と各地のものづくり産業との連携拡大の可能性とそれを踏まえた中部圏の今後のものづくり産業の発展シナリオを展望し、リニア開業がもたらす地域振興の効果の最大化を目指す。

○ プロジェクトの最終成果

- ・知的人材の集積・交流により中部圏の“ものづくり”を進化させる。（新事業・新産業の創出）
- ・進化を支える地域環境の整備により地域振興を最大化する。（移動円滑化、安全・安心）
- ・H32年度以降も最終成果の達成に向け関係者が具体的アクションを継続的に実施

○ これまでの成果

- ・ものづくりの現状及び将来の方向性について調査
- ・中部圏に及ぼすリニアの効果について調査検討
- ・「中部の地域づくり委員会」を設置〔構成：産学官、全6回開催（意見交換会含む）〕
各界企業のトップをゲストスピーカーに招き今後の“ものづくり”について意見聴取

○ H30年度に実施する具体的取組

- ・知的人材・イノベーションに関するニーズ調査（企業アンケート調査等）
- ・ものづくり進化に向けた地域づくりの方向性と取組みの取り纏め（中部の地域づくり委員会）
- ・機運醸成に向けた取組（シンポジウム等の開催を検討中）
- ・各取組みのスケジュールや推進体制の構築に向け関係機関と調整（産学金官）

○ H31年度に実施する具体的な取組イメージ

- ・具体的なアクションプランの決定
- ・アクションプランの推進組織（体制）とフォローアップ方針の決定
- ・情報発信（シンポジウム等の開催を検討中）

○ プロジェクトの推進体制

- ・検討段階：検討会（中部地整、中部経産局、中部経済連合会等）
- ・推進段階：広域地方計画ものづくりPJ推進体制をベースに設定予定（産学金官）

○ プロジェクトの最終成果にかかるKPI

- ・人材育成：知的人材等育成プログラムへの参加者数
（開催回数2回、参加人員約60名）
- ・知的交流：新たなビジネス等の創造に向けた取組み数（ネットワーク・拠点）
（6カ所→7カ所）
- ・地域環境：環状道路整備率（名古屋環状2号線、東海環状自動車道等）
（73%→79%）

※平成31年度末時点（適切な期間毎に適宜更新していくものとする。）

